

福島南ロータリークラブ会報



国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー
Mark Daniel Maloney

国際ロータリー第2530地区ガバナー 芳賀 裕

福島南ロータリークラブ 会長 鈴木 光一 幹事 菅野 良二
目標「奉仕の心で人との繋がりを大切にしよう」

会員/76名 出席/48名 出席率/63.16%
マークアップ/28名 修正/76名 修正後率/100%

会長挨拶 鈴木 光一 会長



本日のお客様の紹介を致します。地区・会員増強拡大ロータリー情報委員会・会員増強拡大委員会・紺野 希予司様、地区RC財団委員会・補助金委員長の大野 順道様です。

先週の移動例会にて、財団補助金を活用して高機能型車椅子の目録贈呈を行いました。あさって22日に「さわやかアイリス様」の施設の方へお伺し残り5台を届けたいです。是非同行したい方は22日(金)午前10時まで庭坂のアイリス様の施設の方へお越し頂ければ幸いです。また23日の勤労感謝の日に福島成蹊高校で行われます東北第1分区主催の新世代会議が当クラブホストにて開催されます。インターアクト・ローターアクト・新世代の若い人たちのディスカッションを楽しみにしている次第です。当日お手伝い頂きます会員の皆様には休日のお忙しいなか、宜しくご協力のほどお願い申し上げます。

昨日、国際大会参加旅行の件で21ロータリークラブと合同で打ち合わせを行いました。団長に21ロータリークラブの国際奉仕委員長の三瓶さんになって頂くことになりました。予定では6月6日出発6月11日帰りで4泊6日となります。6月7日の国際大会への参加と最終日のディナークルーズと8日・9日は自由行動やオプションツアーで楽しむようになりました。若干の参加枠がありますのでご希望の方は、横山国際奉仕委員長の方へ申し出頂きますようお願い致します。明日21日は、二本松の「ウエディングパレスかねすい」にて、芳賀ガバナー歓迎晩餐会が午後7時より開催されますので、ご出席されます皆様宜しくお願い致します。

新会員入会式 / 大本 雅晴 新会員



先週のクラブ臨時総会で入会が承認されました。大本 雅晴 新会員の入会式が本日の例会にて行われました。勤務先は株式会社ダイキアクシス、職業分類は水処理業、カウンセラーは伊藤弘子会員です。これからともに奉仕の働き、よろしくお願ひします。

財団月間スピーチ 地区ロータリー財団委員会 補助金委員長 大野 順道 様



ロータリー財団についてご説明いたします。ロータリー財団 (TRF) は、寄付を受け取り、RCや地区の人道的及び教育的活動でロータリー財団が承認したものに補助金を提供する非営利法人です。1917年、6代目のRI会長アーチ・C・クランプが、「お金だけではたいしたことはできない、個人の奉仕は、お金がなければ無力である。この二つが組み合わせられ、文明への天の恵みとなることができる」と提唱して創設されました。1928年、5,000米ドルまで成長したこの基金は、「ロータリー財団」と名付けられ、ロータリーから独立した別組織となりました。財団の使命は、ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることで、ビジョンを共有する財団支援者からの自発的な寄付によってのみ支えられています。

財団の活動方針は、地区でもクラブでも常に公平、透明、かつ高潔性をもって運用することです。活動目標は、①継続的な寄付を通じて、ロータリー独自のかつ唯一の慈善事業を支援する ②持続可能な教育的・人道的プロジェクトに参加することで、新しいプロジェクトの発展を確かなものとする ③ロータリー平和センタープログラムの推進と広報を通じて、世界理解・親善・平和を育む ④ポリオを根絶する ⑤ロータリー財団の未来の健全性は、ロータリアン一人一人にかかっていることを自覚しよう と掲げられています。また地区目標は、①各プロジェクトの完全実施 ②次年度計画は全クラブからの申請を推進する ③グローバル補助金の活用促進 ④職業研修(VTT)の実施に向けた活動を推進する ⑤財団奨学生との積極的な交流 ⑥平和フェローを募る ⑦ポリオ根絶への協力 ⑧寄付の促進と大口寄付者の発掘、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクターの推進 ⑨年次寄付一人当たり150\$ ⑩ポリオプラス基金への寄付一人当たり30\$ と設定しております。

財団の活動は、寄付金を「集める」活動と、寄付金を「使う」活動に分けられ、集める活動はクラブ財団委員会が、使う活動は奉仕プロジェクト委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会が担当します。

集める活動(ファンドレイジング)では、年次基金、恒久基金への寄付と、使途指定寄付、あとロータリーカード、ダイナースクラブカードは利用額の0.3%(RC法人カードは0.5%)が自動的に財団に入金されます。

使う活動では、寄付金とその投資収益の合計の50%が地区財団活動資金(DDF)として、一部(50%以下)が地区補助金として、その他はグローバル補助金、ポリオプラスやロータリー平和センター等に寄贈されます。また他の50%は国際財団活動資金(WF)として、ポリオプラス等の承認されたプログラムやグローバル補助金に支出されます。各地区は、財団の目標に沿った目的(人道的プロジェクト、奨学金、職業研修等)のために地区補助金を申請できます。使途は地区の裁量に委ねられており、海外か国内か、合同か単独か等は問われません。計画年度と実施年度の2年サイクルが奨励されています。福島県内でも各クラブより、学校や施設への備品の寄贈、復興公営住宅のフラワーロードの整備、池沼の水質浄化プロジェクト等に活用されております。

11月27日(水)の例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング
3. 四つのテスト
4. 来訪者紹介と会長挨拶
5. 風の谷オーナー挨拶
6. スマイルングBOX報告
7. お食事をどうぞ
8. 幹事報告
9. 財団補助金セミナー報告
10. 新世代会議報告
11. ゴルフコンペ報告
12. 各委員会報告
13. 閉会点鐘

例会予定

- ・12月4日(水)誕生祝い クラブフォーラム
- ・12月11日(水)クラブ年次総会<次年度役員理事発表・挨拶>
- ・12月18日(水)家族クリスマス夜間例会
■クラブ関連行事
- ・12月11日(水)福島成蹊高校IAC例会
- ・令和2年1月6日(月)クラブ新年会<くおり>
■地区・その他行事
- ・12月15日(日)米山記念奨学生選考会
- ・令和2年1月6日(月)新年合同例会<ザ・セレクトン福島>